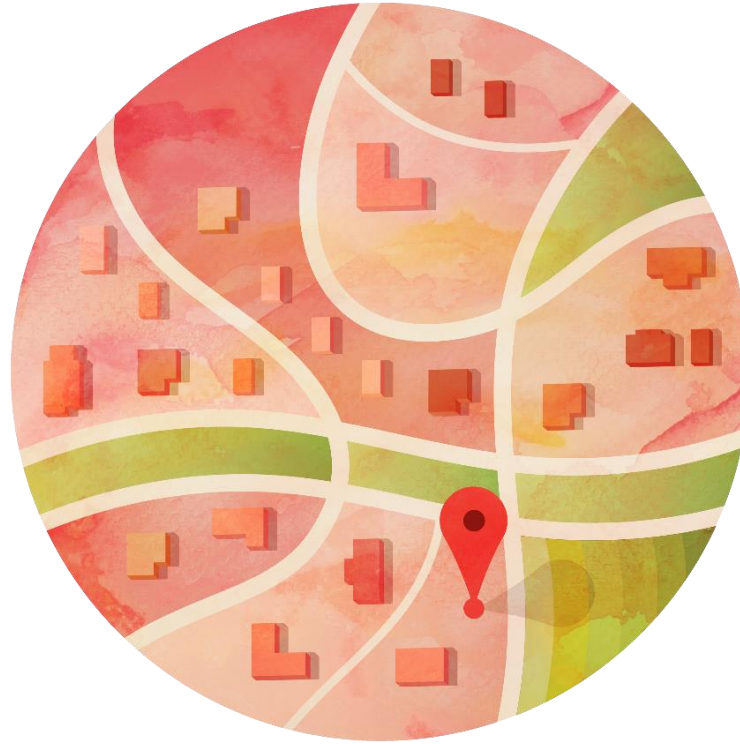




第2回小美玉市新まちづくり構想 実施計画策定委員会

導入機能・利用イメージの具体化に向けた検討方向性について

小美玉市
2025年9月1日

目次

1. 本策定委員会におけるスケジュール等	P.3
2. 本施設及び周辺施設の導入機能	P.8
3. 導入機能・利用イメージに関し、検討いただきたい事項	P.20
4. 類似事例や先行事例での導入実績	P.23

1. 本策定委員会におけるスケジュール等

本日は、基本コンセプトと計画の骨格づくりをテーマとし、導入機能・利用イメージの具体化に向け、みなさまのご意見を頂戴したいと考えております

今年度の事業スケジュール

		▼本日 (9/1)																	
		2025/R7												2026/R8					
		7			8			9			10			11			12		
マイルストーン								▼アンケート等による市民意見の聴取						▼オープンハウス等による市民説明・意見聴取			実施計画策定▼		
本委員会 (5回程度予定)		第1回			第2回			第3回			第4回			第5回					
		キックオフ・現状と課題の共有			導入機能と利用イメージの検討			施設整備計画の具体化			計画素案の確認と事業性の検討			最終案とりまとめ					
実施計画の 検討	エリア及び 施設整備計画	・上位計画・関連計画・ エリアの整理検討 ・導入機能・施設規模 の検討			・設計条件の整理 ・建築計画の検討			・外構の検討 等											
	事業計画	・各施設の管理運営方針の検討						・事業収支の検討						・実行計画としての とりまとめ					
	民間活力等 導入可能性調査				・事業スキームの初期的検討			・サウンディングの実施											

本日は、導入機能・利用イメージに係る検討を主要議題とします

新まちづくり構想実施計画策定委員会の主要議題及び議論のポイント

回	主要議題	委員会における議論のポイント
第1回 R7.7.23	キックオフ・現状と課題の共有	新まちづくり構想実施計画策定スケジュール及び提案について
第2回 R7.9.1（本日）	導入機能・利用イメージに係る検討	導入すべき機能や施設規模の適正化、利用者のすみ分けや一体性を考慮した構成、施設の利用イメージや百里基地等との連携方策について
第3回 R7.11	施設整備計画の具体化に係る検討	導入機能の詳細やゾーニング、施設配置案について
第4回 R8.1	計画素案の確認と事業性の検討	【報告】実施計画の素案（全体構成、事業スキーム、概算事業費、サウンディング結果、スケジュール等）について
第5回 R8.3	最終案とりまとめ	【報告】実施計画（最終案）について

第1回委員会にて、各委員から空間の効果的・効率的活用、環境保全、ターゲットと利用イメージ、事業スケジュール、市民の意向把握等に関する議論がなされました

第1回実施計画策定委員会を踏まえた今後の検討方向性

大項目	論点・ポイント	主な発言内容			今後の検討方向性
		全体	新交流拠点	空のえき「そ・ら・ら」	
エリア及び施設整備計画の検討	両施設の導入機能・ハード施設への要望への対応	- 子供が長く滞在し遊べる空間づくりを優先すべき - 子供が室内で遊べるスペースを整備すべき - 飲食店を付設する等の工夫を凝らし、顧客数増加を図るべき	- 多目的スペースの1,500㎡をどのように使うのか - 稼働率を懸念、効果的・効率的な機能導入や配置計画を検討すべき	- チャレンジショップや売店スペースの拡張可能性、排水設備の延長 - 休憩場所が少ない、滞在空間がない - 日陰を効果的に生み出せる屋根付スペースの設置を検討要	<u>空間の効果的・効率的活用を実現する機能の構成</u>を検討する <u>休憩・滞在スペースを拡充</u>する
	環境保全	-	北山池にて絶滅危惧種のトンボが生息、制約等はないのか	-	施設整備にあたっては、<u>環境関連の法令に留意</u>
事業計画の検討	来訪者のターゲット設定とニーズ対応	- 交流人口拡大は大前提 - ターゲット選定が重要 - 小中学生の遠足先、航空博物館のような学びスペース、広場で弁当を食べてもらうこと等が考えられる	- 百里基地の歴史展示について、基本的なコンセプトは考えているか - 子どもたちが航空産業、基地等について学習機会を持てる機能が望ましい	-	<u>明確なターゲット層を定める必要がある</u> <u>基地に係る展示・体験スペースのコンセプト</u>や具体的な<u>利用イメージの検討</u>が必要
	防衛省補助金の有効活用	補助金の活用可能性	-	-	<u>防衛省補助事業の要綱</u>に基づいて事業を進める
民間活力等導入可能性調査	※特に言及なし	-	-	-	サウンディング調査の実施により検討
その他	両施設の事業スケジュールの管理	両施設の整備順序はどのように考えているか	-	-	計画用地の取得手法の違いから、<u>新交流拠点の整備が先行する可能性が高い</u>
	市民の意向把握	市民の意向も踏まえた計画とする必要有	-	-	<u>オープンハウス、アンケートで市民意向を把握する</u>

導入機能や利用イメージ等の絞り込み・優先順位の設定を行います。本日みなさまからいただいたご意見及びアンケート、サウンディングでの回答を基に更新予定です

導入機能・利用イメージの具体化に向けた考え方

基本計画における 導入機能・利用イメージ	考え方	論点	今後の検討方向性
新交流拠点整備 ✓ 健康づくりを支援する機能 ✓ 水と緑の憩いの場としての機能 ✓ 自衛隊との交流を支援する機能 ✓ 百里基地（基地機能）に係る様々な情報の理解の場としての機能 ✓ 航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能 ✓ 観光交流を支援する機能 ✓ 魅力を発信する機能 ✓ レセプション会場や滞在空間としての機能、宿泊できる機能 ✓ 安全・安心を提供する機能 ✓ 交通拠点としての機能	上位計画等との整合性	✓ 小美玉市や茨城県による上位計画等において、本立地に求められている役割や機能は何か	各上位計画での本事業エリアにおける位置づけを確認
	周辺状況との親和性	✓ 周辺施設と<u>重複する機能はないか</u> ✓ 周辺施設状況を考慮して、<u>必要とされる機能は何か</u>	<u>本事業エリア周辺に立地</u>している<u>施設・機能を確認</u>
	類似事例での導入実績	✓ <u>茨城空港や自衛隊百里基地近接</u>という立地を活かし、<u>どのような機能を導入するのが望ましいか</u> ✓ <u>どのようなターゲット</u>を定めているか	<u>類似事例での導入機能・利用イメージ</u>を調査 - 参考とする機能、差別化を図る機能等、<u>考え方を整理</u> 【新交流拠点の類似施設】 ✓ 航空自衛隊浜松広報館エアパーク ✓ 石川県立航空プラザ ✓ soraかさい 【空のえき「そ・ら・ら」の類似施設】 ✓ （※別途追加予定）
空のえき「そ・ら・ら」拡張整備 ✓ 広場機能 ✓ 体験・交流機能 ✓ 飲食・物販機能 ✓ レクリエーション機能 ✓ 情報発信機能 ✓ エントランス機能 ✓ 駐車場機能・調整池機能	市民アンケートによる利用者ニーズ	✓ <u>住民ニーズ</u>が特に期待される機能は何か	- ネットモニター及び小中学生保護者アンケートにて、市民ニーズを収集、整理 <u>本日、アンケート案をご相談予定</u>
	サウンディングによる民間意向	✓ <u>本事業への参画可能性</u>があるか ✓ <u>民間事業者としてどのようなノウハウ</u>を活用できるか	- 民間事業者へのサウンディングを通じて、導入機能や施設構成の精査を行う <u>第4回策定委員会にてご共有予定</u>

2. 本施設及び周辺施設の導入機能

小川地区全体では、既存の市街地や田園・集落環境の維持を基本とし、地域固有資源を活かし、多様な交流や健康づくり、防災対応をテーマとした地域づくりが目指されています

本立地の位置づけ・機能（小美玉市新まちづくり構想より）



小川地区では、新交流拠点及び周辺施設を含め、交流、健康、観光機能の充実が志向されています。一方で子どもをターゲットとした機能が少ない状況です。

本立地の位置づけ・機能（小美玉市新まちづくり構想より）

機 能	小川地区					
	新交流拠点 (百里飛行場前地区)	百里飛行場 周辺財産	小美玉温泉 ことぶき	やすらぎの里小 川	小川市街地	旧小川小跡地周辺
生活を支援する機能			○		○	
働く場を提供する機能		○				
子育てを支援する機能						○
子どもたちの学びを支援する機能					○	
生涯学習を支援する機能				○		○
健康づくりを支援する機能	○	○	○	○		○
自衛隊との交流を支援する機能	○	○	○			
観光交流を支援する機能	○		○	○		○
魅力を発信する機能	○	○	○	○	○	
行政サービスを提供する機能						
安全・安心を提供する機能	○				○	○
移動を支援する機能					○	
宿泊できる機能	○		○	○		

【小美玉市新まちづくり構想による検討内容】

- 「健康づくりを支援する機能」や「自衛隊との交流を支援する機能」等、本立地における位置づけや機能が明確
- 一方で、小川地区全体では、「子育てを支援する機能」や「子どもたちの学びを支援する機能」等の子どもにターゲットを当てた機能が少ない

機 能	小川地区					
	新交流拠点 (百里飛行場前地区)	百里飛行場 周辺財産	小美玉温泉ことぶき	やすらぎの里小 川	小川市街地	旧小川小跡地周辺
上記を総括すると、どのような役割を担う拠点になれば良いか。 (拠点づくりのテーマ)	・みんなのことが知り合える場 ・多様な交流の場		・健康づくり	・自然と触れ合える生涯学習		・歴史と文化の地域交流の場

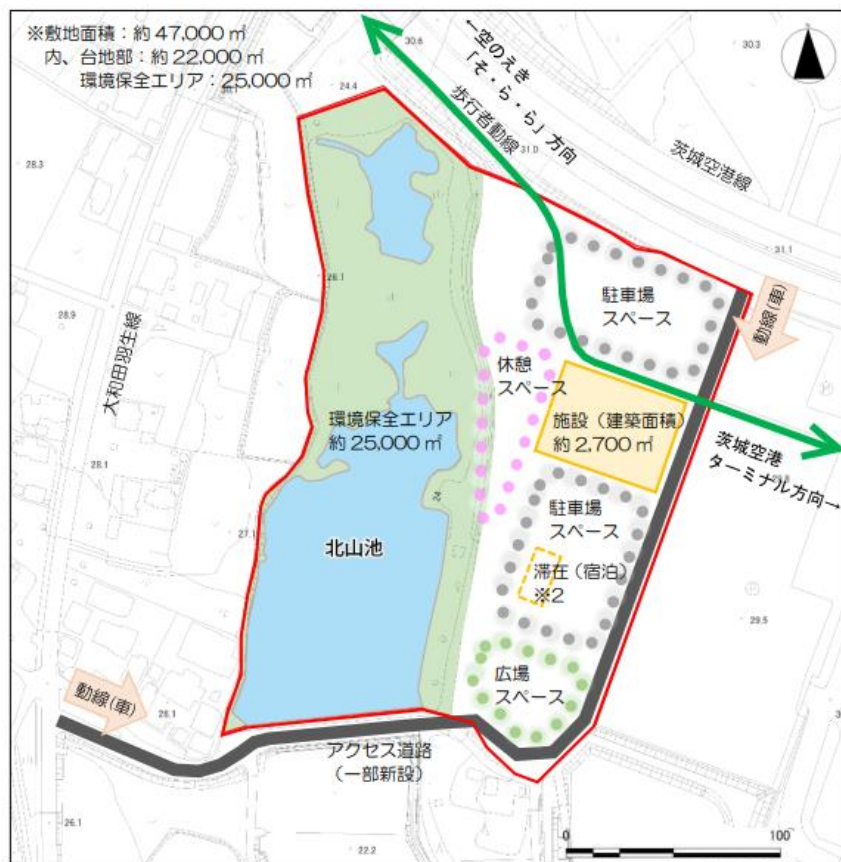
新交流拠点整備基本計画において整備方針とコンセプト、施設機能と構成、配置ゾーニングが整理されています

前回資料より抜粋

百里飛行場新交流拠点整備基本計画

①整備方針とコンセプト

百里飛行場前は、スポーツやイベントなど、様々な市民の活動や交流を支援するとともに、空港利用者、基地利用者、自衛隊員など、多様な人々を迎え入れ、知り合い、交流し、憩う施設として計画します。



②施設の機能と構成

施設の機能		必要な施設
市民の活動や交流の場づくり	健康づくりを支援する機能	●多目的イベントスペース ●トレーニングスペース ●広場スペース(屋外)
	水と緑の憩いの場としての機能	●環境保全エリア(屋外) ●休憩スペース(屋外)
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	自衛隊との交流を支援する機能	●多目的イベントスペース ●広場スペース(屋外)
	百里基地に関わる様々な情報の理解の場としての機能	●展示・体験スペース ●カフェ・文化交流スペース
	航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能	●展示・体験スペース
多様な人々を迎え入れる場づくり	観光交流を支援する機能 魅力を発信する機能	●展示・体験スペース ●カフェ・文化交流スペース
	レセプション会場や滞在空間としての機能	●多目的イベントスペース ●広場スペース(屋外) ●滞在(宿泊)スペース
	宿泊できる機能	
地域の防災拠点づくり	安全・安心を提供する機能 交通拠点としての機能	●多目的イベントスペース ●展示・体験スペース ●災害備蓄スペース ●広場スペース(屋外) ●駐車場(屋外)

建物計画や外構計画は詳細検討まで行われておらず、実施計画において導入機能の絞り込みと規模の適正化、最適な施設構成等を検討し、具体的なプランニングを行います

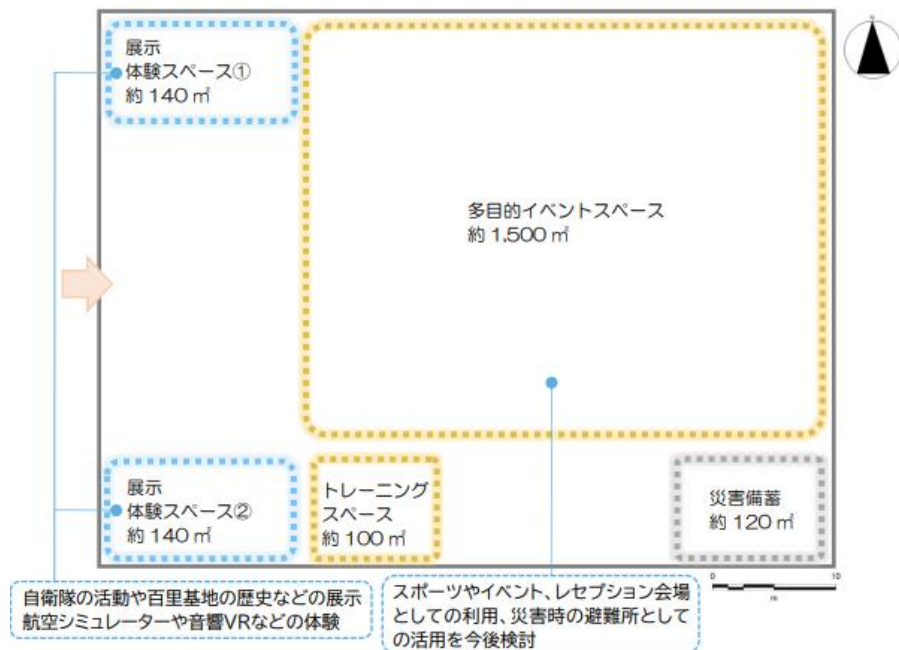
百里飛行場新交流拠点整備基本計画

前回資料より抜粋

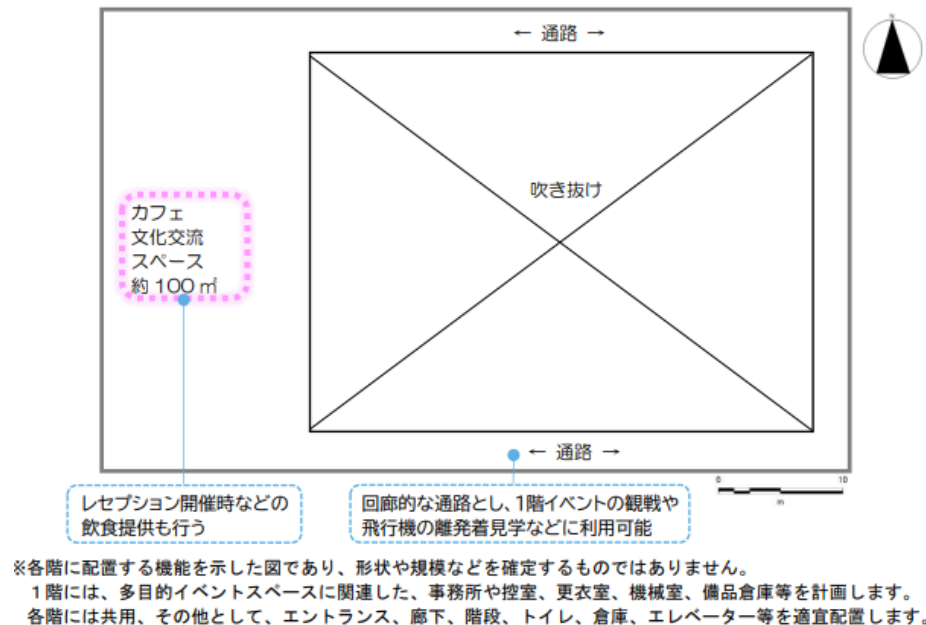
④建物計画

■ 建物規模は、**2階建て（1階約2,700㎡、2階約500㎡）延床面積が約3,200㎡の施設**とし、各機能の利用目的に応じて、下記の通りフロア構成を計画します。

■ 1階配置ゾーニング（60m×45m）



■ 2階配置ゾーニング（60m×38m）

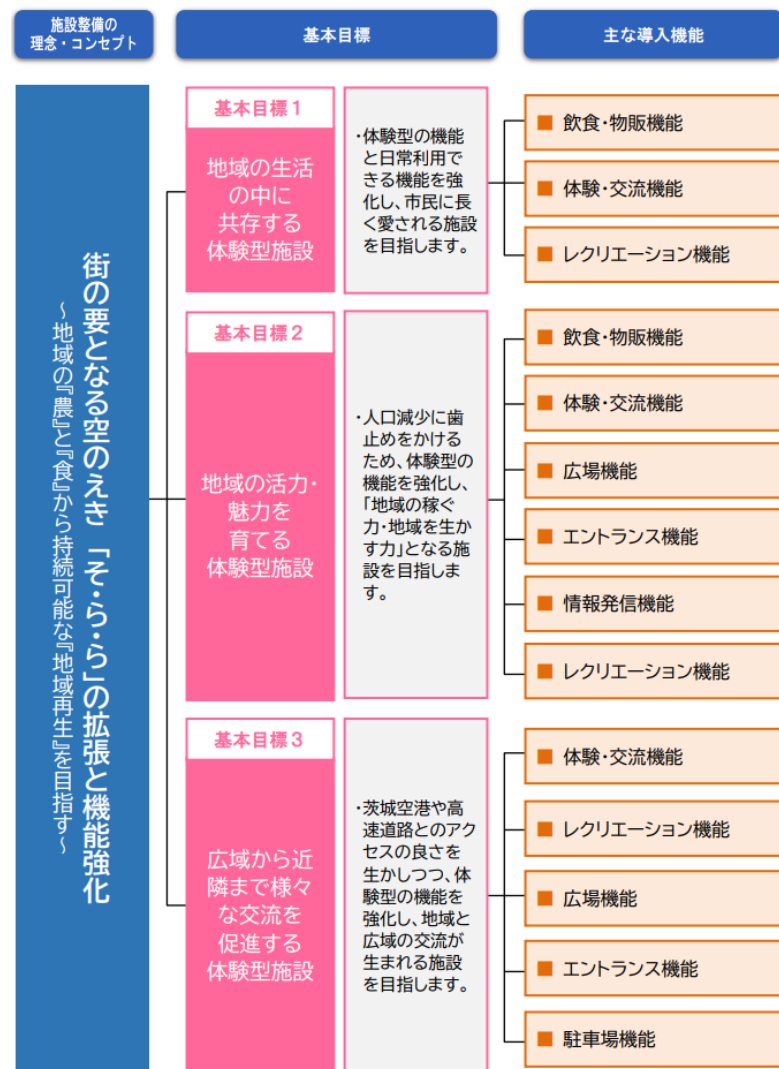


実施計画策定の過程において、建ぺい率（敷地に対する建築面積の割合）の制限や必要機能の絞り込みを踏まえ、基本計画から建築面積・延床面積を再検討します。

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画では、コンセプト、導入機能、施設構成、配置計画、建物計画、外構計画等基本設計レベルの検討がなされています

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

前回資料より抜粋



■ 総合施設整備計画図



新設されるおおぞら広場ではオブジェ等の設置、他広場との一体的な活用によるにぎわいの拡散を目指しています。その他広場では人工芝への張替、屋根や遊具等の設置が検討されています

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

(1) 広場機能

①おおぞら広場【新規】

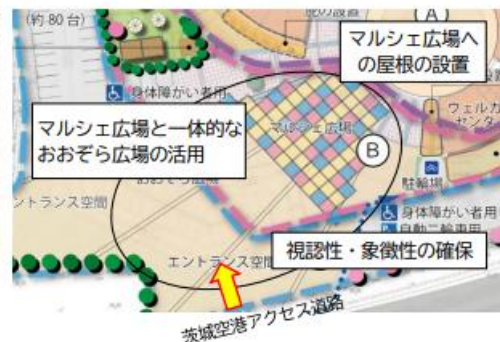
- ・茨城空港アクセス道路に面したエントランス部に広場を配置し、施設の賑わいの拡散を図ります。
- ・おおぞら広場は開放的な広場であり、マルシェ広場と一体的な活用を図ります。
- ・広場には、ここにしかない街の魅力を伝えるオブジェ等の設置を検討します。
- ・舗装面を工夫し、来場者を既存施設内に誘導します。

②マルシェ広場【機能強化】

- ・雨天でも利用できるよう屋根を設置し、滞在者の快適性を高めながら、イベント会場として活用します。
- ・屋根を設置することによって下部が暗くならないよう、屋根の構造等に配慮します。



▲オブジェ イメージ



<マルシェ広場・おおぞら広場概略>

■ 想定施設規模

- ・約 4,000 m²程度

■ 舗装等整備概略

- インターロッキング舗装等

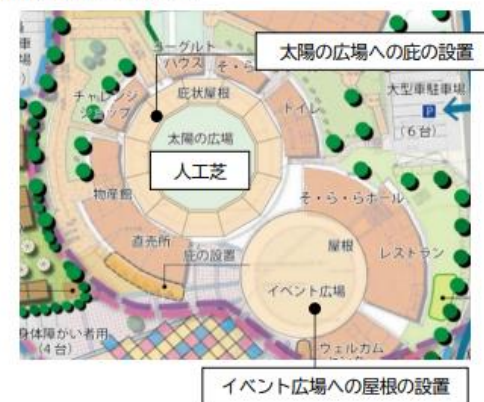
※敷設パターンは、施設内へと誘導するようデザインに配慮します。

③太陽の広場【機能強化】

- ・既存の太陽の広場の設置趣旨を妨げないように配慮しながら、雨天対策として庇状の屋根を既存建物に隣接して設置し、快適性を高め利用促進を図ります。
- ・庇をかけた後、芝生が根付かなくなることを考慮し広場内を人工芝に張替えます。

④イベント広場【機能強化】

- ・既存のイベント広場の設置趣旨を妨げないように配慮しながら、雨天対策や日差し対策として屋根を既存建物に隣接して設置し、快適性を高め利用促進を図ります。



⑤体験広場【機能強化】

- ・既存の芝生広場について、アウトドア教室等体験できるイベント会場として活用します。
- ・現状通り、既存エリア内の調整池としても機能します。
- ・滞在化の促進を図るため、遊具等の設置を検討します。

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

⑥各種工房【新規】

- ・新たな体験・交流の場として南広張エリアへ配置します。
- ・既存乳製品加工施設と近接して配置し、地域産業振興拠点の形成を図ります。
- ・加工過程・作業を外部から見学できるように工夫し、観る体験の場としても活用します。
- ・新たな商品開発を行いながら、物産館での販売やBBQ広場での活用を検討します。
- ・農の風景ゾーン(体験農場等)で栽培されるハーブ等の農作物の積極的な活用を図ります。

＜チーズ工房整備概略＞

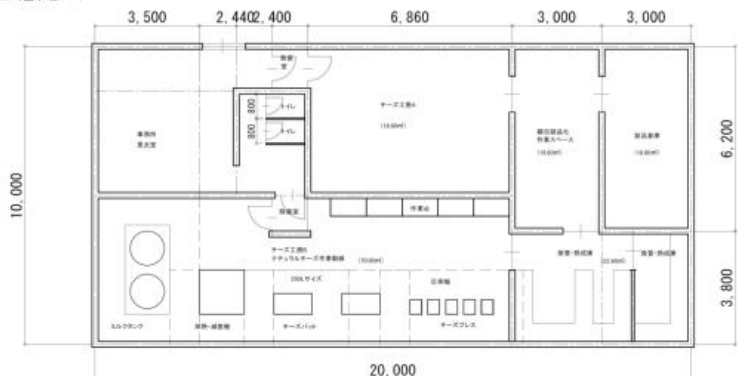
- 想定施設規模
・約150㎡(45坪)～200 ㎡(60坪)程度
 - 想定主要諸室
・検査室・製造室・乾燥庫・熟成庫・冷蔵庫、事務所・トイレ、資材庫等
 - 製造するチーズの種類
・フレッシュタイプ
(モッツアレラ、スリング、カチョカヴァロ等)
・ハードタイプ
(ゴーダ、カマンベール等)
-
- ▲スリング



▲ストリング



▲カチヨカヴァロ



＜ミート工房整備概略＞

- 想定施設規模
 - ・約150㎡(45坪)～200㎡(60坪)程度
- 想定主要諸室
 - ・検査室、燻製室、保冷库、ボイラー室、加工室、梱包室、事務所・トイレ、資材庫等
- 製造するミート加工品の種類
 - ・各種ソーセージ(ウィンナー、フランクフルト、ドライソーセージ、無塩せきソーセージ等)
- 整備イメージ



▲陽詰め作業



▲ 燻製作業

＜地ビール工房整備概略＞

- 想定施設規模
・約150㎡(45坪)～200㎡(60坪)程度
- 想定主要諸室
・検査室、貯蔵・粉碎室、煮沸室、発酵室、熟成室、梱包室、事務所・トイレ、資材庫等
- 製造する地ビールの種類
・各種クラフトビール(パールエール、ピルスナー、ダウンケル等)
- 整備イメージ



▲煮沸作業



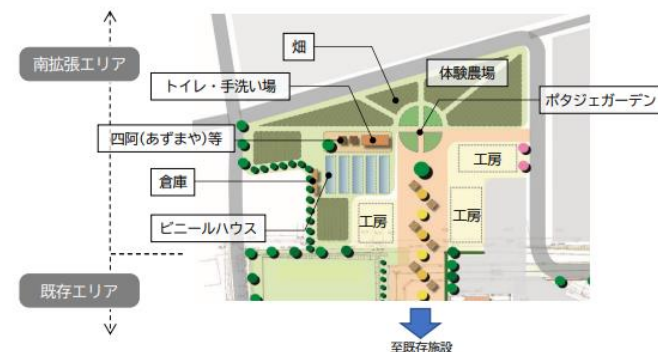
▲ 発酵工程

体験農場を新設し、「農」をテーマとした地域再生のきっかけとして機能することが目指されています。ホール・ふれあい牧場は既存活用方法をベースとして機能強化を図ります

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

⑦体験農場【新規】

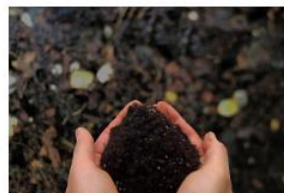
- ・農業体験を通じた地域振興等を図るため、南拡張エリアに配置します。
- ・研修や実習に際しては既存施設のそ・ら・らホールを活用していきます。
- ・便益施設としてのトイレ、手洗い場、四阿(あずまや)、倉庫等の配置を適宜図ります。
- ・体験農場では、レストラン等飲食施設から発生する切りくずや落ち葉等の堆肥や腐葉土づくりへの活用、雨水を利用した散水、太陽光等自然エネルギーの活用など、自然と共生する環境づくりを目指します。
- ・本施設を効果的、効率的に運用していくため、地域農家との連携を図っていきます。
- ・本施設は「農」をテーマとした地域再生のきっかけとして機能するもので、本施設での体験や学習を通じ、地域農業の継承や農地の積極的活用へと展開していくことが期待できます。



■ポタジェガーデンのイメージ



■地元農家との連携、堆肥作りのイメージ



<体験農場等施設概略>

■ 想定施設規模

- ・ポタジェガーデン・畑(ビニールハウス含む) 約 3,200 m²程度
- ※農場内通路も含む

■ 関連付帯施設等

- ・四阿(あずまや)、トイレ、手足洗い場、倉庫、ベンチ、テーブル

⑧そ・ら・らホール【機能強化】

- ・各種会議、集会、研修会場として活用を促進し、体験・交流機能の強化を図ります。
- ・各種工房で生産される製品や体験農場で収穫した農作物を使った料理教室をはじめ、農業振興のための各種セミナー、講習会などの会場として、積極的に活用を図ります。

■そ・ら・らホールの体験の場としての活用イメージ



⑨ふれあい牧場【機能強化】

- ・子ども達を中心に生き物とふれあえる貴重な体験の場として活用していきます。
- ・後述するウェルカムセンターの機能拡張に伴い隣接地に移設を図ります。(※将来的には南拡張エリアへの移転を検討します)

飲食・物販機能は、既存の施設の機能強化に加え、各種工房との連携を図ります。新たなレクリエーション機能として、BBQ場を新設予定です

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

(3) 飲食・物販機能

⑩直売所【機能強化】

- ・既存直売所の外側(マルシェ広場側)に、底のついた入口を新たに設置し、より来訪者が直売所に入りやすい工夫を施します。
- ・マルシェ広場やおおぞら広場との関係性を強化し、既存施設内への誘客効果を高めます。

⑪物産館、レストラン、チャレンジショップ【機能強化】

- ・既存の物産館、レストラン、チャレンジショップについては、ニーズを踏まえながら運営内容の見直しを検討し、利用促進を図ります。
- ・工房で生産する商品については、新たな小美玉市の特産品として、物産館での販売やレストランでの食材として有効に活用します。

⑫各種工房【新規】

- ・イベント時などにおいて工房での加工品やそれらを使った食べ物等を販売し、工房周辺の賑わいの場の形成を図ります。

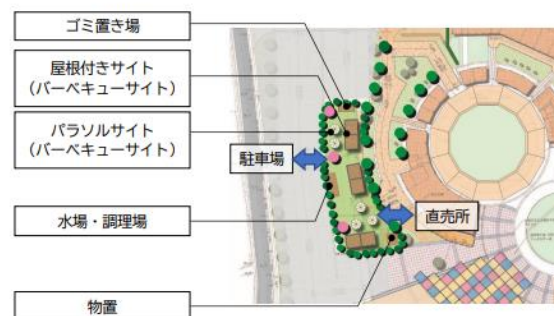
■マルシェやキッチンカーでの製品販売イメージ



(4) レクリエーション機能

⑬BBQ広場【新規】

- ・新たなレクリエーションの場として、駐車場や直売所等とのアクセスを考慮しながら配置します。
- ・日差しなどを避けながら、開放的にかつ快適に利用できる施設整備を目指します。
- ・利用方法としては、基本的には食材、食器等は持ち込み方式あるいは食材は直売所や物産館での調達方式とし、コンロ、炭についてはレンタル、販売方式を想定します。



■BBQ広場イメージ【「STAGEX 高島 -ステージクス高島」(滋賀県高島市)】



<BBQ広場施設概略>

- 想定施設規模
 - ・約 800 m²程度
- 関連施設等
 - ・バーベキューサイトは屋根付きサイトとパラソルサイトの設置を想定
 - ・広場内に、水場・調理場、物置、ゴミ置き場等を設置

サイクルステーションを新設、サイクリストの誘客を図ります。情報発信機能は既存のウェルカムセンターの機能を強化し、エントランス機能は賑わいを創出する空間づくりを目指します

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

⑭サイクルステーション【新規】

- ・サイクリスト用の更衣室、サイクルポート等の機能を持つ施設を新たに配置します。
- ・サイクルポートについては、屋根付きの外部空間とします。
- ・つくば霞ヶ浦りんりんロード、大洗・ひたち海浜シーサイドルートと連絡することにより、サイクリストの誘客効果を高めていきます。

<サイクルステーション整備概略>

■ 想定施設規模

- ・約 200 m²(60 坪)程度

■ 想定主要諸室

- ・更衣室、シャワー室、ロッカー、トイレ、サイクルポート(屋外)、倉庫(レンタル関連機能)等
- ※ウェルカムセンターの機能強化と一体的に整備することを想定

(5) 情報発信機能

⑮ウェルカムセンター【機能強化】

- ・既存のウェルカムセンターの機能を強化し、バーベキュー施設の管理・受付機能を導入します。
- ・新たに配置するサイクルステーションとの行き来を可能とし、サイクリストの休憩室として一体的に活用します。
- ・マルシェ広場に面し窓口を設け、受付等が可能となるよう使い勝手に配慮します。

⑯そ・ら・らホール【機能強化】

- ・現状の機能を維持しながら、地域や航空自衛隊百里基地、茨城空港などの情報発信機能の強化を検討します。

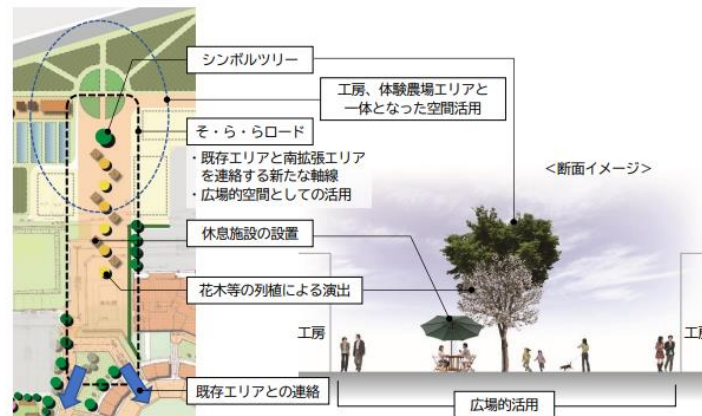
(6) エントランス機能

⑰エントランス空間【新規】

- ・当施設の「メイン」となるエントランスです。
- ・おおぞら広場と一体化した誘導を図ります。

⑱そ・ら・らロード【新規】

- ・南拡張エリアのエントランスとなり、かつ既存エリアと連絡する新たな動線軸(幅員約 15m程度)として配置します。
- ・工房や体験農場と連携しながら広場的に活用するなど、賑わいのあるエントランス空間の形成を図ります。
- ・動線軸をより強調しながら、華やかな空間演出を図るため、中央部への花木の列植を図るとともに、四阿(あずまや)やパーゴラ等の配置により、憩いの場としての利用できるよう工夫を施します。
- ・軸状空間や樹木を活かしたイルミネーションなどで夜間の演出も検討します。



■ 花木のある象徴的な動線軸、動線軸を活用した賑わいの創出イメージ



出典：安満遺跡公園ハンドメイドフェス

施設拡張に伴う新たな利用者の受入ができるよう駐車場エリアの拡張を予定しています

空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画

<そ・ら・らロード・エントランス空間概略>

■ 想定施設規模

- ・約 2,300 m²程度(既存エリア及び拡張エリア含む)

■ 舗装等整備概略

- ・インターロッキング舗装等

※浄化槽のメンテナンスや樹木に必要な土壌厚を確保した樹木の配置を検討します。

(7) 駐車場機能・調整池機能

①9 身体障がい者用駐車場【機能強化】、自動二輪車用駐車場【新規】

- ・茨城空港アクセス道路から近い位置に身体障がい者用駐車場および自動二輪車用駐車場を確保します。

②0 一般駐車場、大型車駐車場、臨時駐車場【機能強化】、【新規】

- ・既存エリア内で駐車台数を最大限確保します。
- ・既存エリアに加え、機能拡張に伴い必要な駐車台数を確保します。
- ・現在遠隔地にある臨時駐車場を集約配置します。(※必要駐車台数等の検討は4-3で示します。)
- ・各種工房及び体験農場に近接する側については、通常利用の駐車場としてアスファルト舗装、体験農場の南奥側については臨時駐車場として碎石舗装を想定します。

②1 調整池【既存】、【新規】

- ・既存エリアに対応する調整池については現調整池を活用します。
- ・拡張エリアの整備に伴い必要な調整池を新たに確保します。(※調整池の検討は4-3で示します。)

<駐車場・調整池概略>

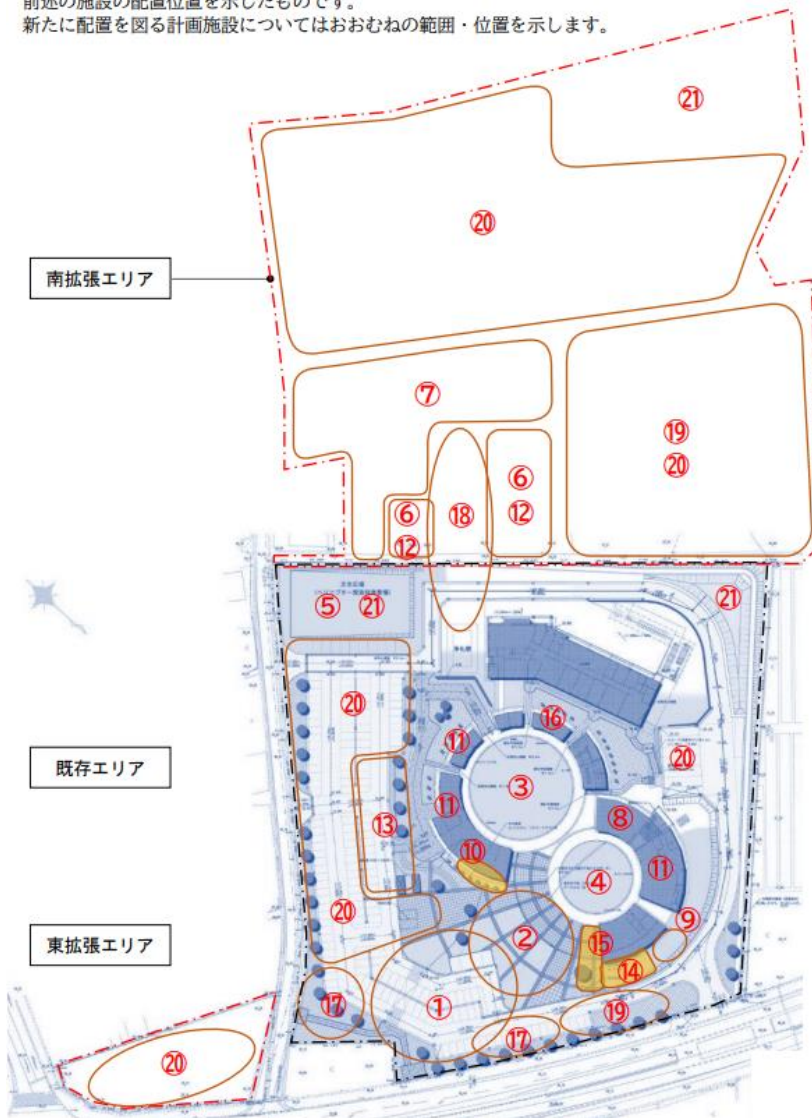
■ 想定施設規模

- ・駐車場 約 6,000 m²程度(既存エリア)
約 19,000 m²程度(拡張エリア)
- ・調整池 約 4,000 m²程度(既存エリア+拡張エリア)

■ 施設配置位置図

前述の施設の配置位置を示したものです。

新たに配置を図る計画施設についてはおおむねの範囲・位置を示します。



3. 導入機能・利用イメージに関し、 検討いただきたい事項

新交流拠点に関し、以下の「導入機能」及び「施設」に関する検討事項について、委員のみなさまのご意見を頂戴したく存じます

①新交流拠点整備

	導入機能	必要性	導入機能に関する 検討事項 (現時点の事務局案)	屋内スペース				屋外スペース		
				多目的 イベント	展示・ 体験	トレー ニング	カフェ・ 文化交流	広場	休憩	環境保全 エリア
市民の活動や交流の場づくり	健康づくりを支援する機能	△	✓ 類似事例には見られない機能。類似施設も近接しており、縮小を検討	○		○		○		
	水と緑の憩いの場としての機能	－	(既存のまま保存*1)						○	○
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	自衛隊との交流を支援する機能	◎	✓ 自衛隊の活動体験・講座等を予定 ✓ 市民と自衛隊との交流で求めるものは？	○				○		
	基地機能に係る様々な情報の理解の場としての機能	◎	✓ 基地の歴史や役割等の展示を予定 ✓ 基地機能に係る情報や市民・基地双方が理解を深めたいことは？		○		○			
	航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能	◎	✓ 航空・防衛産業に係る情報や市民・基地、双方が理解を深めたいことは？		○					
多様な人々を迎えられる場づくり	観光交流を支援する機能*2 魅力を発信する機能	○	✓ 飲食、物販、展示等による魅力発信を予定。望ましい魅力発信方法は？		○		○			
	レセプション会場や滞在空間としての機能、宿泊できる機能	○	✓ 立地等を踏まえ宿泊施設は候補機能から除外。滞在機能として、多目的室を設けた際に想定される需要はあるか？	○			○	○		
地域の防災拠点づくり	安全・安心を提供する機能 交通拠点としての機能	－	(事務局にて検討)	○				○		
施設に関する検討事項		✓ どのようなハード（室・設備・機器等）が必要か？		文化交 流施設 と併用	模型、フ ライトシ ミュレー ター等	文化交 流施設 と併用	カフェ、シア ター、研修 施設等	ファントム機 展示*3等	テーブ ル・ベン チ等	親水エリ ア等

(*1) 貴重種（環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠＢ類）オオモノサシトンボが確認されていることなどから、今回は、改修を行わずに現状を保存する方針を想定している

(*2) 防衛省のまちづくり支援事業の要綱を鑑みると、観光に関する機能はあくまで副次的な機能としての位置づけとなる

(*3) 現在茨城空港に展示されている退役機を移設予定

空のえき「そ・ら・ら」に関し、以下の「導入機能」及び「施設」に関する検討事項について、委員のみなさまのご意見を頂戴したく存じます

②空のえき「そ・ら・ら」

導入機能	屋内スペース				屋外スペース			
	広報・情報	物販	飲食	加工施設・工房	広場・エントランス	農場・牧場	BBQ	サイクルステーション
広場機能					○		○	
体験・交流機能	○			○	○	○		
情報発信機能	○	○	○	○				
飲食・物販機能		○	○	○			○	
レクリエーション機能							○	○
エントランス機能					○			
基本計画において導入機能として整理されたハード施設（設備・機器等）	ウェルカムセンター	直売所、物産館、チャレンジショップ	カフェ、レストラン、チャレンジショップ	各種工房（チーズ、ミート、地ビール）	ステージ、オブジェ、遊具、屋根、テーブル、ベンチ等	体験農場、貸し農場、牧場	ピザ窯、BBQ炉	休憩所、自転車整備器具
現時点の方向性	✓ 市民アンケートによる利用者ニーズの確認、指定管理者のご意見、本委員会での指摘を踏まえ、詳細検討予定							今年度中に建設予定

4. 類似事例や先行事例での導入実績

①新交流拠点

航空自衛隊への理解促進を目的として、広大な面積を生かした航空機の実機展示をメインに多様な機能を導入し、地域の賑わいの拠点になっています

類似事例：航空自衛隊浜松広報館エアパーク | 概要



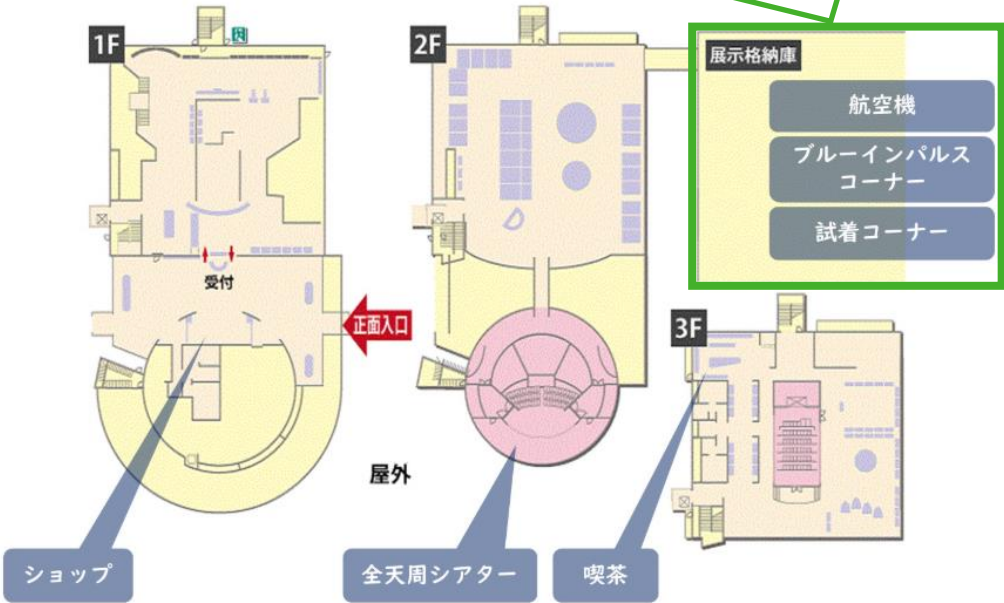
自治体	静岡県浜松市（防衛省所有）
施設機能	展示機能、映像シアター機能、飲食・休憩機能
施設構成	- 屋外展示場 - 屋内展示エリア：全天周シアター、ミュージアムショップ、簡易シミュレーター、喫茶店、キッズコーナー、展望エリア、図書コーナー - 展示格納庫：実機展示、VR飛行疑似体験
利用イメージ	- 観光（家族連れ） - 校外学習（未就学児・小中学生）
管理運営	- 航空自衛隊浜松基地第1航空団司令部監理部 - 売店及び喫茶店は、民間事業者を公募（行政財産の使用許可）
面積	敷地面積：約25,000㎡
料金	無料



全長	19.2m
全幅	11.7m
全高	5.0m

- 同様の航空機を複数台展示している
- 地図情報等から、概算で約60m×約60mの展示スペースを有する
(Google Mapを基に算出)

F-4 戦闘機 ファントム



航空自衛隊への理解促進を目的とした展示機能、体験型の要素や飛行場と隣接している立地を生かした機能、滞在空間としての機能を導入することで賑わいを創出しています

類似事例：航空自衛隊浜松広報館エアパーク | 利用イメージ

資料展示機能



展示資料館2Fの航空機模型

航空自衛隊の任務や役割、装備品等に関する資料を展示

体験型展示機能



VR飛行疑似体験コーナー



簡易版フライトシミュレーター

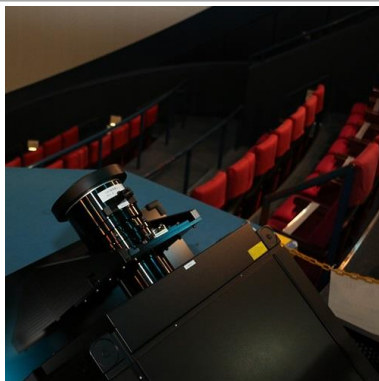
映像シアター機能

--OPEN--

9:30～ 運ぶという使命（輸送機部隊）
10:30～ 強い翼（戦闘機部隊）
11:30～ 空自最強教導部隊（航空戦術教導団）
13:30～ Challenge for the Creation
（ブルーインパルス）
14:30～ 空自最強教導部隊（航空戦術教導団）
15:20～ 最後の岩（航空救難団）

シアター上映内容（例）

航空自衛隊に関する映像を、
ドーム型シアターで体験できる



全天周シアター内部の様子

飲食・休憩機能



喫茶スカイラウンジ Fuji 浜松飛行場を望むカフェ



屋外休憩スペース 浜松基地に隣接しており、 航空機の離着陸を撮影可能

航空自衛隊への理解促進を目的としたイベントに加えて、子どもをターゲットとしたイベントを多く開催しており、家族連れが楽しく学べるような施設を目指していると考えられます

類似事例：航空自衛隊浜松広報館エアパーク | 開催イベント

令和7年度イベント開催予定

月	日	曜	イベント	開催状況等
4	20	日	警備犬の訓練展示	終了
4	27	日	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
5	5	月	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
5	下旬	日	航空管制基礎講座	中止
6	月上旬	日	気象基礎講座	中止
6	28	土	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
7	22, 23	火, 水	夜間開館（ライトアップ）	終了
7	26	日	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
8	3	日	操縦基礎講座	終了
			F-15戦闘機展示イベント	終了
8	10	日	缶バッジ・ぬり絵製作	終了
8	17	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
8	24	日	エンジン基礎講座	開催予定
			T-400練習機展示イベント	開催予定
8	25, 26	月, 火	夜間開館（ライトアップ）	開催予定
8	31	日	エンジン基礎講座	開催予定
			F-2戦闘機展示イベント	開催予定
9	27	土	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
10	19	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
11	30	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
12	21	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定
1	中旬	日	中部航空音楽隊コンサート	調整中
2	22	日	缶バッジ・ぬり絵製作	開催予定

注：天候や器材、支援部隊の状況により急遽中止となることがございます。

缶バッジ・ぬり絵製作

- ・ 広報館が用意した絵デザインをもとにぬり絵を行い、縮小コピーしてオリジナル缶バッジを製作
- ・ 広報館が事前に用意した6種類の缶バッジから選ぶことも可能
- ・ 小学生以下の子どもが対象
- ・ 参加費は無料



基地警備犬の訓練展示

- ・ 基地警備犬の訓練を展示
- ・ 訓練展示後の缶バッジ配布においては、子どもに優先して配布



2 イベント案内

イベント	内容	時間（基準）		場所
警備犬の訓練展示（雨天時は、警備犬の展示に変更）	警備犬1頭とハンドラーによる訓練展示（雨天時は、警備犬の展示）	午前	11:15～11:30	屋外展示場（雨天時は展示格納庫）
		午後	15:15～15:30	

※見学されたお子様の来場者を優先して配布します。

↑ 基地警備犬

← イベント案内

開催イベント

- ・ 子ども（子連れの家族）をターゲットにしたイベントを多く開催
- ・ 通常のイベントにおいても、子どもへの特典や配慮が見られる
- ・ 航空自衛隊の理解促進を目的とした一般イベントも多く開催

航空プラザはグライダーからジェット機まで揃った航空機の博物館です。航空機の歴史・実機の展示・シミュレーター体験などいろいろな角度から航空文化が楽しめる施設です

類似事例：石川県立航空プラザ | 概要



自治体	石川県小松市（石川県所有）
施設機能	展示機能、会議室貸出機能、飲食・休憩機能
施設構成	展示エリア、屋内遊具広場、カフェ、ショップ、会議室、研修室
利用イメージ	- 観光（家族連れ） - 航空実験教室（小学生対象） - 会議・研修等での利用
管理運営	- 指定管理者制度：（公財）小松市まちづくり市民財団 - カフェクルーズの運営は指定管理業務外
面積	- 敷地面積：16,288㎡ - 延床面積：6,018㎡
料金	- 入場無料 - 一部機能（シミュレーターや会議室等）は、別途利用料が必要



1F 実機展示場

- 小型飛行機からジェット飛行機まで、**17機を展示**
- 1Fには屋内遊具広場や会議室、研修室等があり、1F部分で**約40m×約100m**の面積を有する。

（Google Mapを基に算出）



1F 屋内遊具広場



1F フロアマップ

航空機の展示・体験機能や遊具等による滞在空間、会議スペース等が整備されています

類似事例：石川県立航空プラザ | 利用イメージ

資料展示機能



2F展示場

航空機の歴史や仕組み、飛行の原理等を解説



政府専用機の実機展示

2019年3月まで政府専用機として活動

体験型展示機能



YS-11フライトシミュレーター



簡易版フライトシミュレーター

会議室貸出機能



研修室

講義形式で最大54名収容可能
団体利用貸出や実験教室の開催



会議室

円卓形式で最大16名収容可能

飲食・休憩機能



コーヒーショップ クルーズ

売店も兼ねており、グッズ等を販売



屋内遊具広場

屋内広場であり、天候を気にせず遊べる

航空機の飛行原理を学ぶことができる航空実験教室を実施していますが、その他自衛隊や基地等の関連するイベントの開催情報は確認できません

類似事例：石川県立航空プラザ | 開催イベント



航空実験教室の様子

航空実験教室

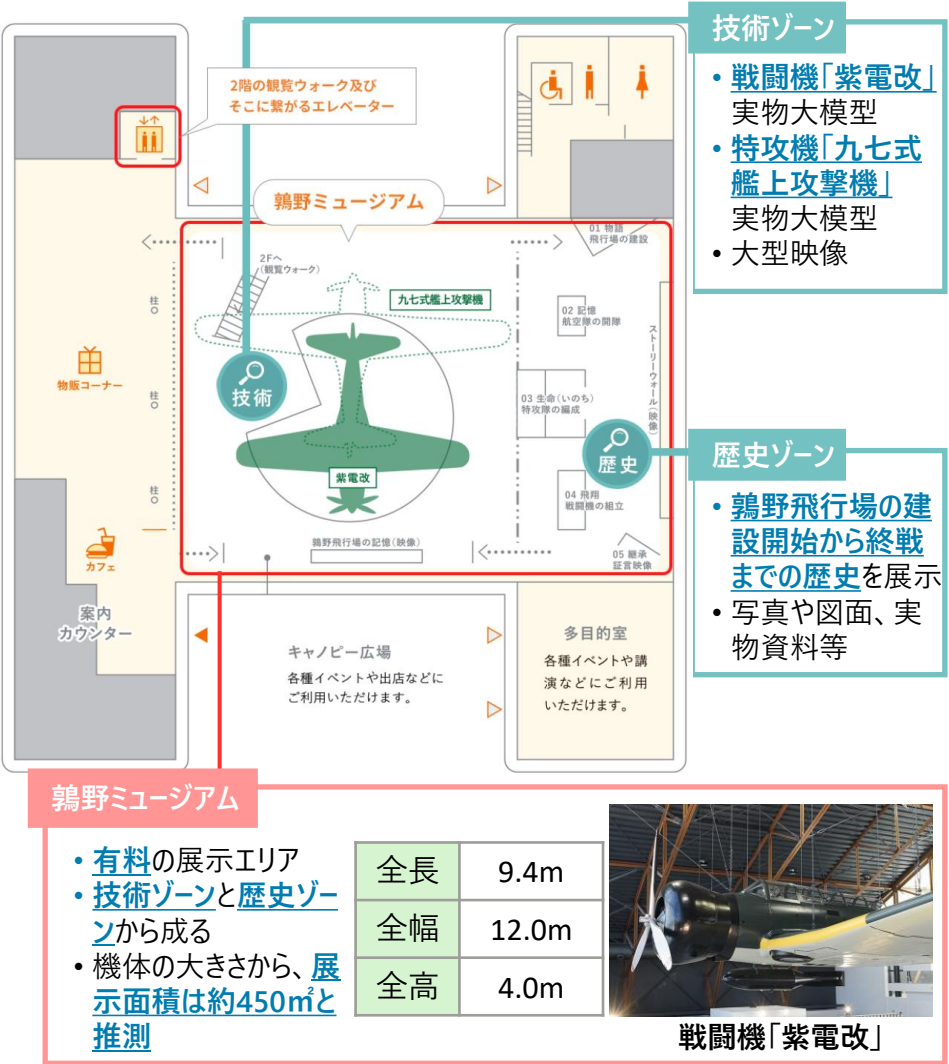
- 航空機の飛行原理について、実験やワークを通して楽しく学ぶ
- 小学生を対象に、平日のみ実施
- 小学校や児童クラブ等の団体利用を誘致
- 定員は20名、参加費は200円/人、所要時間は約1時間

soraかさいは、戦争の史実を伝える鵜野ミュージアムを中心として、滑走路跡や戦争遺跡周遊のための交流拠点としての役割を担うべく整備されました

類似事例：soraかさい | 概要



自治体	兵庫県加西市（加西市所有）
施設機能	展示機能、飲食・休憩機能、空間貸出機能、ツアー機能
施設構成	鵜野ミュージアム、カフェ、物販コーナー、多目的室、広場
利用イメージ	- 観光（家族連れ） - イベント開催（多目的室や広場の貸出） - 鵜野戦跡ツアー参加
管理運営	- 指定管理者制度：神姫バスグループ共同事業体（代表企業：神姫バス株） - カフェ運営も指定管理者が行う
面積	延床面積：1,156㎡
料金	- ミュージアムは入場料200円/人（中学生以下無料） - その他エリアは入場無料



soraかさいは、戦争に関する資料展示機能に加えて、カフェの運営やイベントスペースの貸出を行っており、地域の賑わいを創出しています

類似事例：soraかさい | 利用イメージ

資料展示機能



技術ゾーン

戦闘機の実物大模型などを展示



歴史ゾーン

鵜野飛行場の歴史資料を展示

飲食・休憩機能



Soraカフェ & ショップ

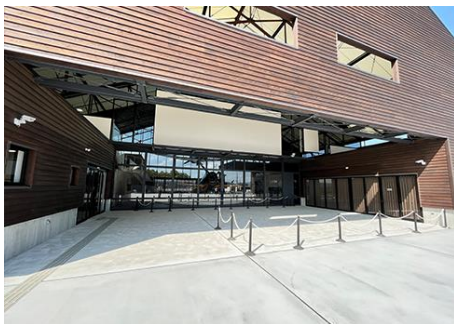


Sora
照り焼きバーガー



鵜野サイダー

空間貸出機能



キャノピー広場

イベントスペースとして貸出



多目的室

イベントや講演の際に貸出

ツアー機能



防空壕跡

Soraかさい周辺の戦争遺跡の1つ



グリーンスローモビリティ
鵜野戦跡を巡る際に利用する
電気自動車

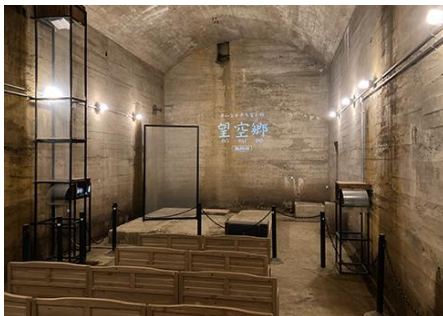
soraかさいでは、周辺の戦争遺跡を巡るツアーや市民イベントが開催されており、地域の賑わいを創出しています

類似事例：soraかさい | 企画

鶉野フィールドミュージアム

■ 巨大防空壕シアターの観覧ツアー

- 鶉野フィールドミュージアムの巨大防空壕跡を利用したシアター
- 姫路海軍航空隊の特別攻撃隊「白鷺隊」の隊員の遺書を紹介する映像を展示
- シアターチケット（500円）またはsoraかさいで発行されたレシート（1000円分以上）を持参することで、観覧できる



防空壕シアター

■ 鶉野戦跡ガイドツアー

- Soraかさい周辺の戦争遺跡をグリーンスローモビリティで巡るツアー
- 観光ガイドが同乗し、各ポイントを説明
- 戦跡ツアー後、soraかさい館内のガイドツアーも含まれる
- 事前予約制だが参加費は無料



グリーンスローモビリティ
（電気自動車）

イベントスペース貸出

■ Sora傘いアート

- 地元中学生が中心となって開催準備を進めたアートイベント
- 市外の学生とも協力して、チラシやバナー広告を作成
- Soraかさいで販売するカラービニール傘に好きなイラスト等を描き、「紫電改」を彩る
- 紫電改をカラフルに彩ることで、町が平和になったことを伝える



イベントの様子

■ SORASIDO PARK

- 加西市を中心に活動する地域商社「Harima Creative」が開催した大型キッズフェス
- ストライダーやビンゴ大会等の子どもが楽しめるイベントを多数開催
- 農家が直売する青空市や地元のアウトドアメーカーの販売会、ふるさと納税ブースなど、地域活性化に貢献
- 入場料は無料



イベントの様子

類似施設における機能や施設等について、新交流拠点に優先的に導入したいものを整理しています。また、取り入れるべき「小美玉市らしさ」についてもご意見を頂戴したく存じます

類似施設における機能・施設比較及び検討方向性（案）【①新交流拠点】（1/3）

導入機能等		浜松広報館エアパーク	石川県立航空プラザ	soraかさい	新交流拠点で重視したいポイント
事業主体	所有	防衛省	石川県	加西市	小美玉市（想定）
	運営等	防衛省	小松市まちづくり市民財団	神姫バスグループ共同事業体 （代表企業：神姫バス株）	民間（想定）
事業手法		公共発注＋直営	公共発注 ＋指定管理者制度	公共発注 ＋指定管理者制度	公共発注＋指定管理者制度（想定）
市民の活動や交流の場づくり	健康づくりを支援する機能	×	×	×	△
		※未整備	※未整備	※未整備	－
	水と緑の憩いの場としての機能	×	×	×	－
		※未整備	※未整備	※未整備	
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	自衛隊との交流を支援する機能	◎	×	×	◎
		航空自衛隊の広報施設として位置づけ	自衛隊との交流に資する機能やイベントが見られない	開催イベントは見られない	補助要件上導入が必要な機能 であり、 定期的な自衛隊とのタイアップイベントの開催等 が考えられる
	基地機能に係る様々な情報の理解の場としての機能	◎	△	◎	◎
		- 現役パイロットによる操縦講座や地上滑走訓練、職種紹介等関連イベント多数 - 自衛隊関連の上映、展示有 - 体験型シミュレーター有	体験型シミュレーター有	- 実物大の航空機模型 - 姫路海軍航空隊としての保有技術や歴史を展示有 - 鵜野飛行場滑走路跡や防空壕跡を巡るツアー有	補助要件上導入が必要な機能 であり、 自衛隊に関連する資料展示や体験型展示、映像の上映等の要素 を取り入れることが考えられる

類似施設における機能や施設等について、新交流拠点に優先的に導入したいものを整理しています。また、取り入れるべき「小美玉市らしさ」についてもご意見を頂戴したく存じます

類似施設における機能・施設比較及び検討方向性（案）【①新交流拠点】（2/3）

	導入機能等	浜松広報館エアパーク	石川県立航空プラザ	soraかさい	新交流拠点で重視したいポイント
市民と自衛隊員などの交流の場づくり	航空・防衛産業を知る動機づけの場としての機能	◎	○	○	◎
		- 自衛隊含む航空関連の上映、展示有 - 図書コーナーも整備	- 航空機の展示は充実 - 航空機の歴史や飛行原理を学ぶ機能・機会は有 - 上映や図書機能等は整備されておらず	姫路海軍航空隊の特別攻撃隊「白鷺隊」の隊員の遺書を紹介する約20分の映像を上映	補助要件上導入が必要な機能 であり、 航空・防衛産業に関する展示やイベントの開催等 が考えられる
多様な人々を迎え入れる場づくり	観光交流を支援する機能 魅力を発信する機能	○	×	○	○
		- 浜松飛行場に隣接する立地を生かした展望ラウンジ - 喫茶店でご当地カレーを販売	※未整備	- 周辺の戦争遺跡を巡るツアー - カフェで加西産の食材を使った料理を提供	小美玉市の豊かな自然を望む展望エリアの整備や地元食材を使った料理の提供等 、立地や魅力を生かした機能の導入が考えられる
	レセプション会場や滞在空間としての機能、宿泊できる機能	○	○	○	○
地域の防災拠点づくり	安全・安心を提供する機能 交通拠点としての機能	×	×	○	△
		避難所等の指定なし	避難所等の指定なし	防災備蓄倉庫を併設	災害時の避難場所や備蓄倉庫としての機能 を導入することが考えられる

※施設や機能としての充実度について、◎→○→△→×にて優先順位付け、ターゲット及び収益源は有無を記載

類似施設における機能や施設等について、新交流拠点に優先的に導入したいものを整理しています。また、取り入れるべき「小美玉市らしさ」についてもご意見を頂戴したく存じます

類似施設における機能・施設比較及び検討方向性（案）【①新交流拠点】（3/3）

	導入機能等	浜松広報館エアパーク	石川県立航空プラザ	soraかさい	新交流拠点で重視したいポイント
ターゲット	地域住民、家族連れ	◎	○	○	◎
	小中学校等の課外学習	◎	○	－	類似施設と同様の客層を取り込みつつ、外国語対応等の配慮を行うことで、 <u>インバウンドも併せてターゲットとする</u>
	インバウンド含む観光客	－ (外国語対応等なし)	－ (外国語対応等なし)	－ (外国語対応等なし)	
収益源	利用料金（※入場料）収入	－	－	○	<u>事業収支面における希望</u> （稼げる施設とするのか、公的施設としての位置づけとするのか等）を <u>確認</u>
	イベント収入	－	○	○	
	飲食・物販による収入	○	○	○	

※ターゲット及び収益源は有無を記載